

東洋大学重点研究推進プログラム 「アスリートサポート」「バイオミメティクス」 合同シンポジウム

東洋大学生体医工学研究センターが研究主体となる「多階層的研究によるアスリートサポートから高齢者ヘルスサポート技術への展開“社会実装に向けての研究組織連携の構築”」と、「バイオミメティクス活用による高機能かつ持続可能なものづくり」の二つの重点研究推進プログラムにおける研究活動を紹介します。

参加費
無料

2021年8月3日(火) 9-12時
オンライン開催



申込用QR

基調講演 細胞膜表面に做ったポリマーバイオマテリアル

石原 一彦 先生



略歴

1984年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程後期修了（工学博士）。
（財）相模中央化学研究所研究員、東京医科歯科大学助手、助教授を経て、
1998年東京大学助教授、2000年教授、2021年定年退職。
所属学会は、日本バイオマテリアル学会、高分子学会など。専門はバイオマテリアル工学、機能高分子化学、マテリアル光科学。
2004年井上春成賞、2011年先端技術大賞最優秀賞（経済産業大臣賞）、2017年平成29年度文部科学大臣表彰（科学技術賞）、2018年平成30年度全国発明表彰（経済産業大臣賞）、2018年日本医療研究開発大賞厚生労働大臣賞など。

研究発表

暑熱ストレス保護成分の多階層的な研究展開

生体医工学研究センター センター長/生体医工学科 教授 加藤 和則

暑熱ストレスによる学習障害と脳腸相関

生体医工学研究センター 副センター長/生命科学科 教授 児島 伸彦

ウイルス分子認識機構に做ったバイオセンシング

生体医工学科 教授 合田 達郎

GLYCO-TUNINGで生物共生活動のバイオミメティクスを実現する

食環境科学科 教授 宮西 伸光

バイオミメティクスによるスポーツギア開発

機械工学科 准教授 窪田 佳寛

建築分野におけるバイオミメティクスの可能性

建築学科 講師 高岩 裕也

アントレプレナーシップと社会実装

経営学科 教授 山本 聡